

DATA：消化器内科 ●日本消化器病学会認定施設、日本消化器内視鏡学会指導施設。
●平均外来患者数(日)：約140名 ●平均入院患者数(日)：41名 ●医師数：7名
●主な対象疾患：消化管 肝胆道系疾患、膵疾患全般。とくに早期癌など内視鏡治療の適応疾患。

消化器内科における治療と実績

当科では年間7,000件以上の内視鏡検査・治療を行っています。2015年は内視鏡室の拡充予定もあり、内視鏡件数はますます増加すると予想されます。超音波内視鏡、拡大内視鏡をはじめNBI(Narrow Band Imaging：狭帯域光観察)、カプセル内視鏡、バルーン小腸内視鏡などを装備し、日々診断や治療にあたっています。

処置内視鏡、とくに早期胃癌を切除するESD(Endoscopic Submucosal Dissection；内視鏡的粘膜下層剥離術)は2014年、65件施行しました(2014年1～12月実績。以後、同)。また、胆道系の内視鏡も254件施行し、東葛地区での最多件数を誇ります。胃潰瘍、食道静脈瘤破裂などによる消化管出血の止血術にも随時対応しており、150件と多数の症例を扱いました。さらに潰瘍性大腸炎、クローン病といった炎症性腸疾患では、生物製剤や免疫抑制剤、白血球除去などの治療を行っています。重症例においても高次医療施設とも常に連携し、遅滞することなく対処可能です。加えて2013年に保険適用が拡大されたピロリ菌の除菌治療も積極的に行っています。

最新治療 大腸ステント、カプセル内視鏡

消化管や胆管などが癌によって狭くなった場合、管を入れて通りをよくすることをステント治療と呼びます。大腸癌で腸が狭くなり腸閉塞を来した場合の多くは症状が重く、緊急で肛門から減圧する太い管を入れたり、手術をしたりす

最新の高精度内視鏡を装備。確かな技術で安心を。

ることが必要でした。2012年に大腸ステント治療が保険収載され、先述のようなリスクの高い緊急手術を回避できるようになりました。また、手術をすること自体が困難なご高齢の方にも比較的少ない負担で治療を行うことができるようになりました。行っている施設は少ないのが現状ですが、当科では2012年以降28例と数多くの症例を扱っています。その際、頻度は低いながら合併症もあるため、カンファレンスでよく検討してから施行するようにしています。



また、カプセル内視鏡という、小腸を観察できる特殊な“飲む内視鏡治療”も39例施行しています。このカプセル内視鏡は、千葉県で4つしかない指導施設の1つにもなっています。カプセル内視鏡が適応となるのは、原因不明の消化管出血で胃内視鏡や大腸内視鏡検査を行っても出血源がないという場合と、CT検査などで小腸疾患が疑われる場合です。検査は2cmほどのカプセルを飲むだけで、苦痛はほとんどありません。

消化器内科における最新治療

消化器内科

C型肝炎への薬剂的アプローチ

C型肝炎の新しい治療法として従来使われてきたインターフェロンを用いずに飲み薬を2剤使う抗ウイルス療法があります。この治療法は2014年9月に保険適用となり当科でもいち早く導入して症例を蓄積しています。

C型肝炎は、ジェノタイプ1・2の2つのタイプに分

類されますが、この治療薬は、ジェノタイプ1かつ慢性肝炎、代償性肝硬変の一部の症例に適応となります。

2剤を組み合わせると1日2回、朝・晩、食後6か月間服用するという方法ですが、これまでの治療法と比べて副作用が少なく非常に治癒率が高いと話題の治療法です。

今後、新しい抗ウイルス薬が登場すると予想されますので、また新たな治療法を展開できるでしょう。

患者様紹介について

とても忙しい日常臨床の中で紹介状を書く負担が強いと感じる先生方もいらっしゃると思いますので、患者様をご紹介いただくときは、紹介状はごく簡潔なもので構いません。画像などはキー画像だけで結構ですし、基本的な情報をお書きいただければ十分です。こちらから問い合わせる場合もあるかもしれませんので、電話番号やFAX番号を明記していただければ幸いです。



消化器内科部長代理 岸川浩 先生

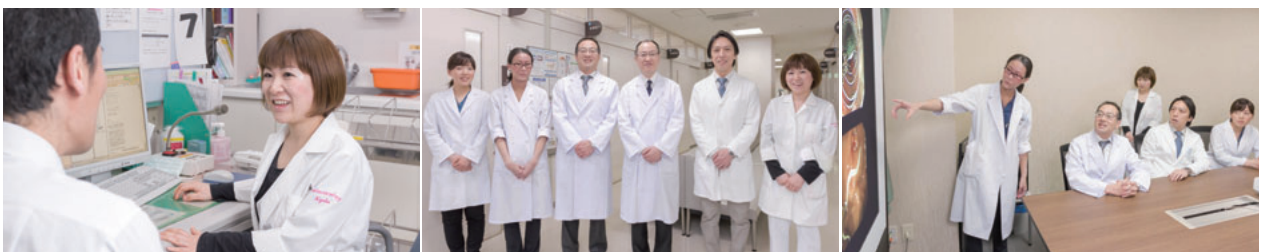
information

市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域みなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

✦日程：平成27年5月14日(木) ✦時間：19:30～21:00 ✦場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター 3階会議室

- 内視鏡治療全般とくに上部消化管、胆道系疾患の内視鏡治療について(貝田将郷)
- 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎/クローン病/ベーチェット病)について(木村佳代子)
 - 下部消化管疾患の治療内視鏡、とくに大腸ステントについて(財部紗基子)
 - 自己免疫性膵炎について(荒畑恭子)
- C型肝炎の経口2剤治療、小腸疾患全般および当科でのA群の臨床的特徴について(岸川浩)



みなさまのご参加、お待ちしております。

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者さまのご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ね下さい。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時 土曜日：午前9時～午後1時(第2土曜日は休診日)